2024年全日本 社労士公開模試 リニューアル

LECの公開模試は多くの合格者に　支持されています。その理由は……

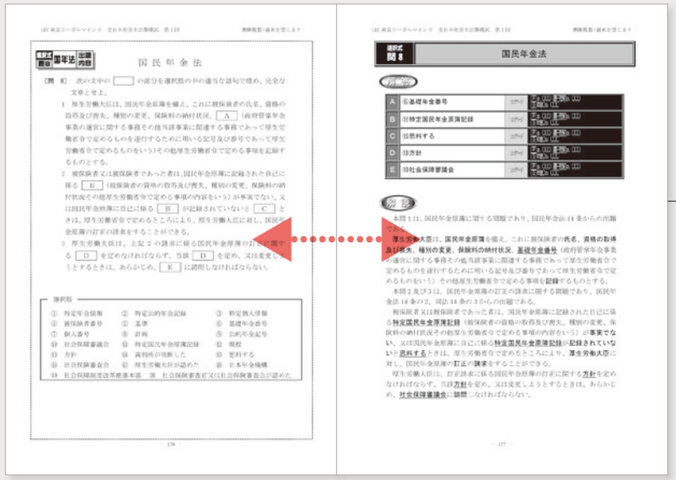
第一に、復習がしやすいこと。

直前期は時間がない。気もあせる。∴復習しやすいことが大事。つまり……

①問題文と解説が見開きで対比され、通勤中でも復習しやすいようにレイアウトされているか。
②テキスト参照ページが肢別に記載されているか。
③復習用の教材（解説冊子等）は、充実しているか。

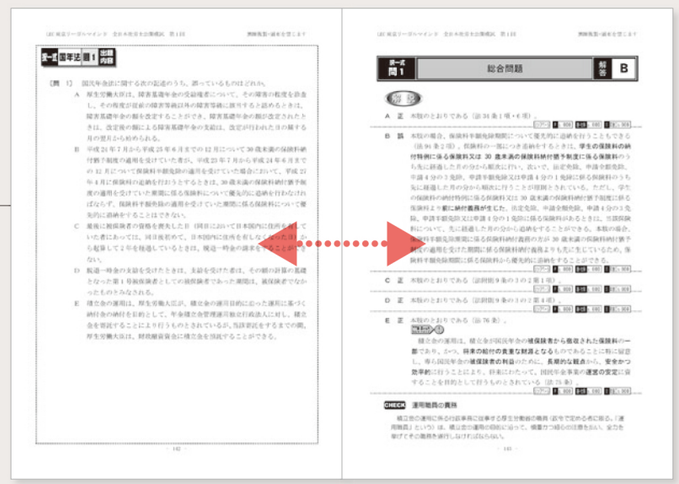
これがポイント。テキストのどこに書いてあったか探すことに時間をとられたり、
不十分な解説のために自分で調べなければならないようでは直前に時間をとられ、あせってしまう。

比べてください！**復習の効率**が断然違います！



選択式

Point 解説冊子が画期的!問題と解説が見開き表示されているので、通勤電車の中でも楽に復習できます。持ち運びもとっても便利。



択一式

LEC公開模試の3つの特長

1 万全なシミュレーション

本試験当日は、これまで味わったことのないような極度の緊張感の中で長時間机に向かうことになります。単に学習しているのではなく集中力を高めた状態で問題を解くのは非常に大変です。公開模試は、**本試験と同じ時間帯、同じ形式**で行います。問題を解くペース配分や手順等を意識して、本番のシミュレーションをしてください。

2 解答力を合格レベルにアップ！

本試験を制するには知識だけでは足りません。決められた時間内に問題を読み解き、自分の知識から正解を導き出す解答力が求められます。LECの公開模試は、**3回受験**で、本試験に出題可能性が高い**主要論点をカバー**でき、**解答力を合格レベルにアップ**することができます。

3 客観的な成績分析で最終調整を図る

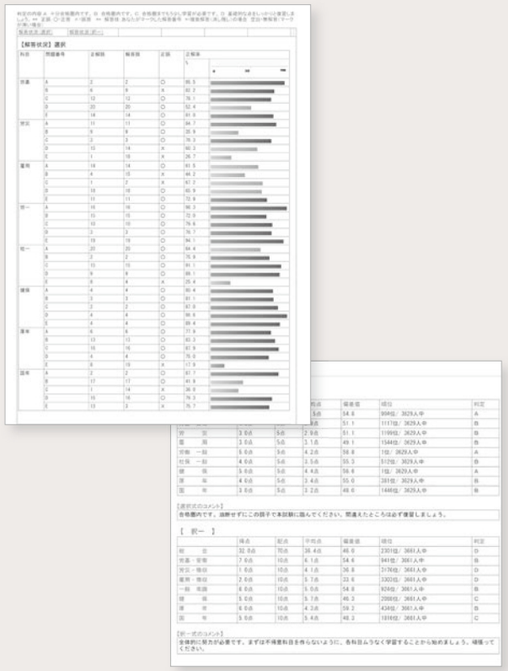
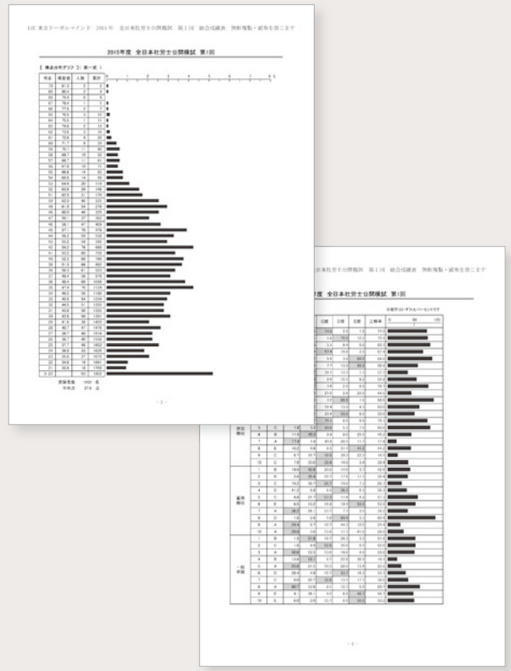
公開模試は例年**多くの受験生が受験**しているため、その時点での自身の**実力を客観的に把握**することができます。成績表上で全受験生の正答率が高い問題は、本試験では絶対に落としてはいけない問題です。間違えてしまった場合には、丁寧に復習を行い、本試験までに解答力をアップしておきましょう。

第二に、適切なレベル設定

3回受験すると、総復習できる！

公開模試は、直前期の最終調整を行うために受験する、とても大事な受験準備。公開模試だからこそ、易しすぎても、難しすぎても受験生にはマイナス。本試験の最終調整として、適切なレベル設定がなされているのか、そこがポイント。LECの“全日本社労士公開模試”は、全3回の充実した設問数の本試験レベルの完全予想問題で、広範囲に主要論点のカバーを図ります。本番さながらの問題を解き重ねることにより、本試験で実力を充分に発揮するための心構えも養成できます。

個人成績表



総合成績表